

小規模  
特認校  
指定校



松本市立安曇小学校

t\_azumi\_el@matsumoto-ngn.ed.jp

松本市立安曇中学校

t\_azumi\_jh@matsumoto-ngn.ed.jp

TEL 0263-94-2234

FAX 0263-94-2235

〒390-1502 松本市安曇964

松本市教育委員会

学校教育課：TEL 0263-33-9846

学校支援室：TEL 0263-33-4397

教育政策課：TEL 0263-33-3980

FAX 0263-33-3934・0263-34-3206

〒390-0874 長野県松本市大手3丁目8番13号

(大手事務所4階)

## 令和9年度転入学 学校案内

はじめに

安曇小学校、安曇中学校は、明治6年島々に音知学校、稲核に得善学校を始まりに、昭和42年4月稲核小学校、稲核中学校を統合し、安曇村立安曇小学校、安曇中学校として発足しました。その後、安曇村の松本市への編入に伴い、松本市立安曇小学校、安曇中学校として今日まで来ています。

しかし、松本市との統合以降は、急激な児童生徒数減少により、集団的活動や、多様な学習活動に懸念が生じることになってきてしまいました。そこで、令和3年12月に松本市教育委員会は、安曇小学校・安曇中学校を「小規模特認校」に指定し、令和4年度より松本市全域から児童を募ることにしました。

「小規模特認校」とは、今ある通学区は現状のまま、加えて松本市内全域より希望する児童生徒を迎え入れる制度です。本校は、安曇の自然豊かな環境の中でその特色を活かした教育活動を行っています。小規模少人数の特性を活かし、一人一人の個性を尊重しながら、元気にのびのびと学習できる環境にあります。学校は、特認校制度を活用して子どもを迎え入れることにより、小規模でも多様な学習活動を展開し、集団的な活動への広がりも期待しています。より地域とも連携を強め、特色ある教育活動を安曇校の魅力としてさらに充実させていきます。子ども達にとってより良い環境で、子ども達の個性を伸ばし、豊かな人格形成を実現する学校を目指し、取り組んでいます。



安曇小中学校校歌

一 梓の谷の ひろけいじん

安曇の空の あけゆく朝を

流れを前に 山を背にして

学びのそなえ 欠ける物なく

けだかく白く 堂々と

母校は立つよ 丘の上

二 花咲く春も みどりの夏も

もみじの秋も 雪ふる冬も

美わし 母校 ここに学びと

楽しい思い 勇む心に

ゆきぎの道は 遠くとも

われらは越える 山や谷

三 望みは高く 山々深く

清らの水に 清らの心

信濃の国に われら生まれて

世界の平和 人のさいわい

うちたてようと 朝夕に

仰いで通う この母校

ああ この母校 安曇校

昭和四十四年三月

作詞 尾崎 喜八  
作曲 飯沼 信義

1 学校教育目標

『清らの心とひとり立ちできる人間』

ウェルビーイング（みんなが幸せ）な学校をめざして

2 令和8年度の重点目標

1 学習指導重点

子どもが主体となって学ぶ授業

「児童生徒が自ら問いを持ち 主体的・対話的に解決する授業の創造」

- 「上高地学習」を中心とした探究的な学び
- 子どもの「やりたい」「学びたい」から始まる授業づくり
- 重点研究・「安曇塾」による授業公開と授業改善の日常化
- 連学年による授業の工夫
- ICT活用の促進

2 生徒指導重点

多様性を包み込む学校・学級づくり

～ひとりひとりの特性に照らした支援の共有と充実～

- 小さな学校の大きなクラス ～みんなが全員の先生～
- 少人数を生かしたインクルーシブな教育活動
- 小学校と中学校が連携した、生徒指導・生活指導

3 ウェルビーイング実践校 TOCO-TONとして

「やりたい」を「ともに」実現する学校

- 大野川小中学校・奈川小中学校との連携
- リアル&オンラインでの学び合い(合同授業の実施)
- 3校合同行事の実施
- 3校職員の繋がりを更に深める(3校ミーティングによる職員の連携)
- 探究活動を通じた交流

### 3 学校教育目標具現のための学校教育改善

#### (1) 地域参画を意識した活動と成果の発信（生活・総合・キャリア教育）

子どもの頃に地域貢献活動に参加した経験がある子は、大人になった時、地域のために貢献しようとする傾向があると言われています。将来のための素地づくりを行います。

#### (2) 山～川を繋ぐ地域教材を活かした教育

上高地学習を中核としながら、山と川のつながりを身近に感じ、山をきれいに、川をきれいに、結果、自然を守る持続可能な社会の実現におけた地域に根差す学習活動を行っています。

#### (3) 本校の目指す「安曇三ガク校」（学校・楽校・岳校）

##### ①児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」を保障する授業（みんなが主役）

**安曇学校**…個の学びを大切にし、学びによる達成感、実現感を得られる学校

##### ②自尊感情・自己肯定感を高める楽しい学びのある学校の実現（みんなの居場所）

**安曇楽校**…自尊感情、自己肯定感を高め、自信を持てる、学ぶ楽しさのある学校

##### ③地域の豊かな自然や文化をいかした授業（私たちの安曇・上高地）

**安曇岳校**…山岳観光地を活かした学習を展開し、地域を愛する児童生徒の育つ学校

### 4 小中連携教育と連学年での学びの推進

小中併設校である本校の強みをいかして、小中連携をさらに進めようと考えています。特に小学校高学年での、中学校職員による授業の乗り入れを増やし、多くの大人と関わる機会を増やすことで、中1ギャップを埋める効果もあると考えています。また、TTによる支援を入れることにより、子ども達の困り感の軽減をはかっています。

【中学校専科教員の小学校乗り入れ】

【小学校教員による中学校への学習支援】

【小中合同の行事】

【その他の活動連携】

### 5 ウェルビーイング実践校 TOCO-TON として

長野県教育委員会より、R7から『すべての子どもが、「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求するために、自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校「ウェルビーイング実践校 TOCO-TON（トコトン）」』に指定されました。大野川小中学校・奈川小中学校と3校で連携し、共に学んだり、交流する機会を増やしたりするなどして、新しい学びの姿を模索していきます。

## 6 本校の特色ある教育活動

### (1)児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」を保障する授業（みんなが主役）

**安曇学校…個の学びを大切に、学びによる達成感、実現感を得られる学校に**

#### 少人数学習

令和8年度本校の児童生徒数は、小学校44名、中学校21名、全校で65名程の小さな学校です。各学年1クラス、4名から12名ほどの学級規模です。

学年に応じた教科指導の必要な時間は学年で、ある程度の人数規模で集団による学習が必要な時には連学年で行うことにより、小規模の中にも多様な学習形態を取り入れ、連学年で連携して学習に取り組んでいます。

#### 小中併設校としての強み

本校は、小学校と中学校が同じ施設内に併設されており、特別教室は小中共用の施設となっています。校舎では小学生と中学生が同じフロアを行き来し、9年間を過ごします。小学生は日常から中学生の姿を見ることになり、小中合同行事も多く実施しています。これは、中1ギャップの解消にもつながっていると考えています。

小学校では、体育・音楽・図工等の教科で、連学年による合同授業を行っています。更に中学校の先生による、小学校への乗り入れ授業を実施し、(R8は、理科・社会・英語・音楽・体育・書写の授業を実施)部分的に教科担任制を実施しています。専門教科の多くの先生方に教えていただくことで、学習効果を上げています。



生活科



少人数による探究学習



小中学生が同じ学び舎で生活

#### ウェルビーイング実践校TOCO-TON（トコトン）

R7年度より、大野川小中学校、奈川小中学校と共に、ウェルビーイング実践校TOCO-TON（トコトン）に指定されました。「やりたい」を「ともに」を合言葉に、3校で合同学習を行ったり、交流行事を行ったりしながら連携を深め、新しい学びの姿を模索しています。



オンラインを使った話し合い



対面での合同授業



三校合同高山研修遠足

## (2) 自尊感情・自己肯定感を高める楽しい学びのある学校の実現（みんなの居場所）

**安曇楽校…自尊感情、自己肯定感を高め、自信を持てる、学ぶ楽しさのある学校に**

### ◎小中合同行事

入学式・卒業式、運動会、安曇祭、走る会、集会活動等、小中併設の良さを生かした合同行事を行っています。



運動会



安曇祭



上高地遠足

### ◎願いを実現する「児童会」「生徒会」活動

#### 「児童会活動」

集会活動を基本に、高学年が計画し、全校が関わる活動を大事にしています。生活をより良くするための集会を企画し、実践しています。（衛生、体力づくり、環境等）

#### 「生徒会活動」（本部、学級、文化厚生）

生活をより良くするための活動を企画しています。継続的にボランティア活動として地域のゴミ出し活動を行っています。

全校が仲良くなれる活動を継続的にを行っています。

### ◎多様な考えに触れる交流学習

「大野川小中・奈川小中との三校交流学習」を軸に、「保小交流」「松崎中学校（静岡県）との交流」「グリンデルワルト交流」「いいら（デイサービス）との交流」等、色々な人達と交流活動を通し、多様な考えに触れる機会を増やしています。



ハロウィン集会



ごみ出しボランティア



小学校三校交流



中学校三校交流



いいら（デイサービス）との交流

### (3) 地域の豊かな自然や文化をいかした授業（私たちの安曇・上高地）

#### 安曇岳校…山岳観光地を活かした学習を展開し地域を愛する子の育つ学校に

上高地は本校の学区であり、旧村の時代から上高地と小中学校とは密接な関係をもってきました。上高地徳本峠山行、ウエストーン祭等、公民館行事にも積極的に子どもたちは参加し、歌を歌ったり、献花をしたりして、地域も子どもたちの位置づけを大事にしています。上高地は本校の宝でもあり、豊かな学習材として位置付けています。

#### 【小学校】：上高地学習

小学校では、上高地や地元の豊かな自然や文化を素材とした上高地学習を推進して、探究的な力をつけるとともに、地域への愛着心や郷土愛を育成します。

1,2年：上高地ってどんなところ？「自然散策」陸たんけん・川たんけん 等



3,4年：上高地の魅力・発見

上高地を守る人々 郷土（安曇・上高地）の発展に尽くした人々 等



5,6年：上高地の課題

上高地観光とダム電源開発 上高地の成り立ち、安曇の歴史 等



## 【中学校】：上高地（安曇）学習、キャリア教育

中学校では、上高地や地元の豊かな自然や文化と共に生きる人々に着目し、キャリア教育の視点から地域を素材とした上高地（安曇）学習を推進し、探究的な力をつけるとともに、地域への愛着心や郷土愛を育成します。

<1・2年>

・「島々饅頭復活プロジェクト」「安曇を盛り上げようプロジェクト」(R7)

・1年生：安曇地区・上高地での職場体験

・2年生：松本エリアでの職場体験、保育実習（安曇保育園）

※松崎町訪問（隔年で実施）旧姉妹都市、松崎中学校との交流。

<3年>キャリア進路学習（安曇と松本及び中信地区を繋ぐ）

・「上高地の外来植物について発信しよう！」(R7)

・地域出身者による進路講話、高校の実際を知る進路講話等。

<中学校全校で>：3校研修遠足

R7より、奈川中・大野川中と合同で、3校研修遠足を行っています。R7は飛騨高山を、R8は糸魚川を目的地に、3校の生徒達が自分たちで作り上げる合同行事です。

### <上高地学習>



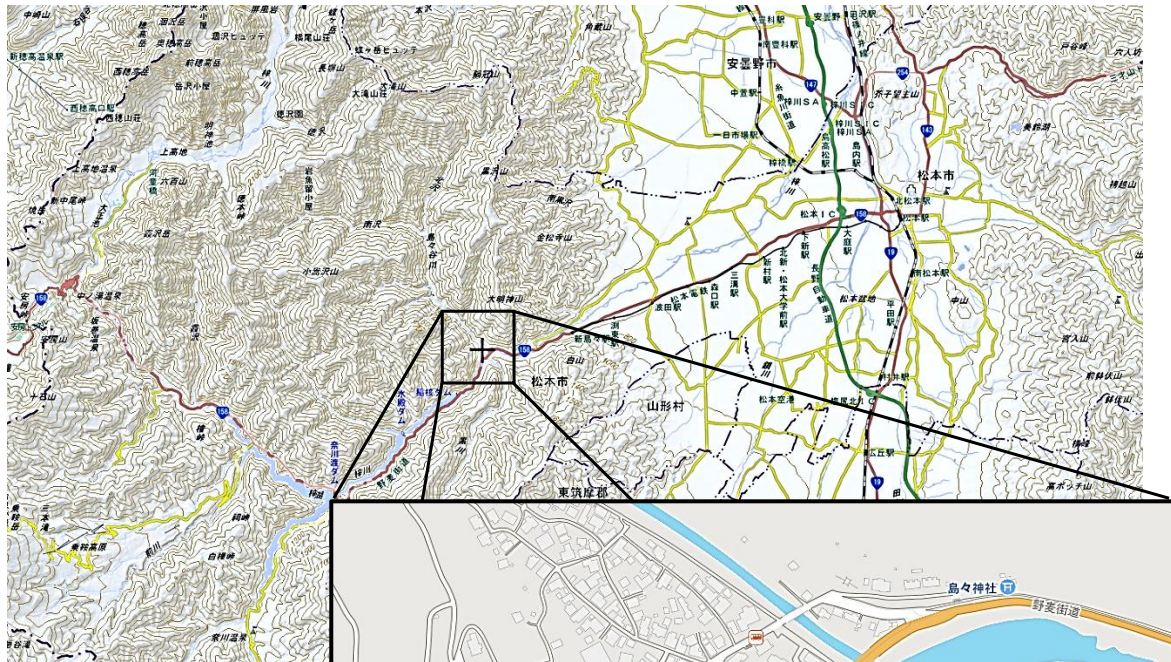
### <職場体験>



### <三校研修遠足・松崎町訪問>



**松本市立安曇小中学校までの交通案内**



お車の方

JR 松本駅より乗鞍上高地方面  
国道 158 号線で約 30 分

公共交通機関の方

JR 松本駅より (約 46 分)  
アルピコ交通鉄道上高地線  
新島々駅乗換 (約 7 分)

乗鞍上高地方面行バス (安曇小中学校前下車)



<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/197/2175.html>  
標高 751.5m 北緯 36 度 10 分 57 秒 東経 137 度 47 分 2.1 秒